



2019年度

# 超高齢社会に向けた 医療と介護の連携の推進

団塊の世代が後期高齢者となる2025年以降、医療や介護の需要がさらに増大することが見込まれます。この超高齢社会に向けて、医療ニーズを持つ高齢者であっても、住み慣れた地域で最期まで自分らしい暮らしを続けられるよう、地域で在宅医療・介護を一体に提供できる体制を構築することが重要です。

本研修では、地域の医療と介護の連携体制を、各市町村がどのように構築していけば良いかを考えます。

## 開催要領

日程

**2019年6月5日(水)～6月7日(金) (3日間)**

場所

**全国市町村国際文化研修所** JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

**高齢者福祉や高齢者が安心して暮らすための施策に携わる市区町村等の職員**  
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

**40人** 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。  
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

**研修所宿泊棟(宿泊型研修)** ※外泊はできません。

経費

**10,500円** 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。  
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

**2019年4月16日(火)まで** ※申込後、4月当初の人事異動に伴う受講者の変更については、柔軟に対応します。

申込方法

**JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」**からお申し込みください。  
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。  
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。  
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

## ● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 **全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部**

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906  
[e-mail] [kenshu@jiam.jp](mailto:kenshu@jiam.jp) [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

2019年

6月  
5日(水)

11:00～ 入寮受付・昼食

12:30～ 開講・オリエンテーション

13:00～15:35

**講義** 超高齢社会にむけて、高齢者が安心して暮らせるまちづくり～医療と介護の連携を中心に～

東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 辻 哲夫 氏

老いても住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けられるまちづくりを進めるために、特に地域包括ケアの最大の課題である医療と介護の連携の強化と、そのために市町村が今、何をすべきかをお話しいただきます。

15:50～18:00

**演習** グループ討議①

東京大学高齢社会総合研究機構 学術支援専門職員 松本 佳子 氏

在宅医療・介護連携推進におけるPDCAと事業評価について概説した上で、受講者同士の情報・意見交換を通じて、在宅医療・介護連携の目的・目標、地域の目指す姿について考えます。

18:00～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00～14:10

**事例紹介** 医療・介護事業者と行政の協働による在宅医療・介護連携の推進

コーディネーター:東京大学高齢社会総合研究機構 学術支援専門職員 松本 佳子 氏

・誰もが安心して暮らせるように～川根本町の取り組み～

静岡県川根本町高齢者福祉課課長補佐兼地域包括支援センター長 池本 祐子 氏

医療・介護資源が少ない小規模自治体で、町直営訪問看護ステーションと地域包括支援センターが地域の拠点となることで、看取りや入院支援、さらに住民の暮らしを一体的に支える取組みについてお話しください。

・地域の活動から進める小松市の在宅医療・介護

石川県小松市長寿介護課 主幹(保健師) 角地 孝洋 氏

訪問看護ステーションややのいえ コミュニティスペースややのいえ代表 榊原 千秋 氏

「ややのいえ」の包括的排泄ケアやケアコミュニティマスター養成など広く地域に根差した取組みと、事業所や住民の自主的な地域活動からボトムアップで施策化していく在宅医療・介護連携、認知症施策の取組みについてお話しください。

・病院を連携拠点とした新潟市での在宅医療・介護連携推進の取組み

新潟県新潟市保健衛生部地域医療推進課 主査 春日 潤一郎 氏

新潟市在宅医療・介護連携ステーション西

済生会新潟病院 地域連携福祉センター 地域医療連携室 室長 齋藤 浩生 氏

新潟市では地域の連携拠点として在宅医療・介護連携ステーションを10病院と1診療所に配置しています。その中の1病院での具体的な取組みと、市におけるデータを活用した事業評価と市全域をマネジメントする取組みについてお話しください。

14:25～17:00

**演習** グループ討議②

東京大学高齢社会総合研究機構 特任研究員 吉江 悟 氏

在宅医療・介護に関わる基本的な指標と市町村で可能なデータ入手方法を解説し、データを用いながら自地域の在宅医療・介護連携の実態把握と事業評価に向けた演習を行います。

17:00～

**課外演習**

2019年

6月  
7日(金)

9:25～12:00

**演習** 発表、質疑応答、講評

東京大学高齢社会総合研究機構 特任研究員 吉江 悟 氏

学術支援専門職員 松本 佳子 氏

演習の内容を受講者全員で共有し議論を通じて医療・介護の連携推進に向けた地域の体制構築とその事業評価について深めます。

13:00～14:10

**講義** 総括講義とふりかえり

東京大学高齢社会総合研究機構 特任研究員 吉江 悟 氏

地域における医療・介護の連携の推進と事業評価、連携体制構築のための市町村の役割について、総括講義を行い、本研修のふりかえりを行います。

14:10～14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。